

# 長崎市スポーツ推進計画 概要版



長崎市 平成27年5月

# 第1章 計画策定の背景等

## 1 計画策定の背景

平成16年12月、長崎市は、スポーツ振興法に基づき、10年後の平成26年を目標年次とする「長崎市スポーツ振興計画」を策定しました。その後、プロスポーツや障害者スポーツの発展、少子高齢化や情報化の進展、地域社会の空洞化や人間関係の希薄化が進んだほか、グローバル化に伴い国際的な協力・交流が活発になる一方、国際競争も激化するなど、社会環境や価値観が急激に変化するとともに、運動やスポーツを取り巻く環境も大きく変化してきました。

このような中、国において、スポーツ界における新たな課題に対応するため、スポーツ立国戦略の策定、スポーツ基本法の制定、スポーツ基本計画の策定がなされたことから、長崎市においても、長崎市スポーツ振興計画の期間が満了することに伴い、スポーツ基本法に基づき、「長崎市スポーツ推進計画」を策定いたしました。

本計画は、平成26年1月に実施した「長崎市民の運動・スポーツの実態に関するアンケート」により、市民の運動やスポーツに対する意識や意見の実態把握に努め、長崎市の実情に即したものとしております。

また、本計画策定前の平成26年度に開催された長崎がんばらんば国体及び長崎がんばらんば大会の成果と課題を踏まえつつ、本計画期間の最終年度に開催される2020年東京オリンピック・パラリンピックに繋げることを目指しています。

## 2 計画の位置づけ

「長崎市スポーツ推進計画」は、スポーツ基本法第10条第1項の規定に基づき、国が策定したスポーツ基本計画を参酌して策定したもので、また、「長崎市第四次総合計画」の基本方針を踏まえつつ、運動やスポーツに関連の深い分野の各計画との整合性を図っています。

### ※長崎市第四次総合計画における基本方針

- (1) 市民のだれもが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツやレクリエーションに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するための環境整備に取り組みます。
- (2) 競技スポーツの水準を高めるため、選手や指導者の育成・強化に努めます。

## 3 計画の期間

「長崎市スポーツ推進計画」の計画期間については、「長崎市第四次総合計画」の終期（平成32年度末）に合わせ概ね6年間としています。

「長崎市スポーツ推進計画」の計画期間

H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
長崎市第三次総合計画 (H13年4月～H23年3月) (10年間)										長崎市第四次総合計画 (H23年4月～H33年3月) (10年間)										
前期基本計画(5年間)					後期基本計画(5年間)					前期基本計画(5年間)					後期基本計画(5年間)					見直し
										長崎市スポーツ振興計画 (H16年12月～H26年12月) (10年間)					長崎市スポーツ推進計画 (H27年5月～H33年3月) (約6年間)					
										長崎がんばらんば国体・長崎がんばらんば大会(H26年)										
															2020年東京オリンピック・パラリンピック(H32年)					

## 第2章 計画の基本理念及び基本方針

本計画は、運動・スポーツを通じてすべての長崎市民が幸福で豊かな生活を営むことができる社会を創出することを目指すため、以下の基本理念に基づき、基本方針を設定しています。

### 1 基本理念

する・みる・支えるスポーツの振興

### 2 基本方針

長崎市第四次総合計画の基本方針を踏まえ、また、国のスポーツ基本計画の基本方針を参酌して、本計画の今後概ね6年間の基本方針を次のとおり設定します。

#### 1 子どもの運動・スポーツ機会の充実

青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い、実践的な思考力や判断力を育むなど人格の形成に積極的な影響を及ぼし、次代を担う人材を育成するため、子どもの運動・スポーツ機会を充実します。

#### 2 ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進

心身の健康の保持・増進を図り、健康で活力に満ちた長寿社会を実現するため、ライフステージに応じた運動・スポーツ活動を推進します。

#### 3 住民が主体的に参画する地域の運動・スポーツ環境の整備

人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成し、人間関係の希薄化などの問題を抱える地域社会の再生に貢献するため、住民が主体的に参画する地域の運動・スポーツ環境を整備します。

#### 4 競技力の向上に向けた人材の養成、スポーツ環境の整備

国際大会や国民体育大会などの全国大会における長崎市出身選手の活躍が、市民に誇りと喜び、夢と感動を与え、市民のスポーツへの関心を高め、長崎市の社会に活力を生み出し、市民経済の発展に広く寄与するため、競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備を行います。

#### 5 国際大会、全国大会などの招致・開催などを通じたスポーツ振興、地域活性化、他都市との交流の推進

スポーツ振興、地域活性化、他都市との交流を推進するため、国際大会、全国大会などの招致・開催、姉妹都市とのスポーツ交流などを通じた国際貢献・交流を推進します。

#### 6 スポーツ界の好循環の創出

地域におけるスポーツを推進する中から優れたスポーツ選手が生まれ、そのスポーツ選手が地域におけるスポーツの推進に寄与するというスポーツ界の好循環を創出します。

# 第3章 基本方針における目標及び今後の取組

## 1 子どもの運動・スポーツ機会の充実

### 【目標】

- ・すべての子どもが運動やスポーツを楽しむことができる環境の整備を図る。
- ・今後10年以内に子どもの体力が、全国的に体力水準が高かった昭和60年頃の水準を上回るようにする。

### (1) 幼児期からの子どもの体力向上方策の推進

- ・PDCA(※)サイクル確立の促進
- ・保護者が参加する取組の推進
- ・幼児期から体を動かすための取組の推進
- ・青少年育成協議会や子ども会などへの活動を支援

(※) Plan/Do/Check/Action の略で、計画(Plan) → 実行(Do) → 検証(Check) → 改善(Action) の流れを次の計画に活かしていくプロセスのこと。

### (2) 学校における運動・スポーツ活動の充実

- ・「あじさいスタンダード体力づくり編」(※)の活用
- ・学校間での運動部活動統合などの取組み
- ・学校体育や運動部活動への指導者派遣
- ・教員や運動部活動指導者などに対する研修の充実

(※) 平成26年3月に長崎市教育委員会が発行した長崎市の子どもの体力向上のための指針。

### (3) 子どもを取り巻く社会のスポーツ環境の充実

- ・スポーツ少年団の活動内容等の周知
- ・子どもの運動・スポーツへの参加機会の充実

## 2 ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進

### 【目標】

- ・成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率が3人に2人(65%程度)となるようにする。
- ・成人の週3回以上の運動・スポーツ実施率が3人に1人(30%程度)となるようにする。
- ・成人の運動・スポーツ未実施者の数がゼロに近づくようにする。

### (1) ライフステージに応じた運動・スポーツ活動の推進

- ・地域スポーツに関する情報の発信
- ・運動・スポーツが苦手な人へのきっかけづくり
- ・スポーツボランティアの機会の提供

### (2) スポーツにおける安全の確保

- ・バリアフリー化及び耐震化による施設の充実及び安全確保
- ・スポーツ用具の定期的な点検及び適切な保管管理
- ・スポーツ施設におけるAEDの設置及び周知

### 3 住民が主体的に参画する地域の運動・スポーツ環境の整備

#### 【目標】

- ・総合型地域スポーツクラブの普及を図る。
- ・スポーツ指導者の充実を図る。
- ・スポーツ施設の利用促進を図る。

#### (1) コミュニティの中心となる地域スポーツクラブの普及促進

- ・総合型地域スポーツクラブ、スポーツ団体などの活動内容等の周知
- ・総合型地域スポーツクラブ、スポーツ団体などの普及促進

#### (2) 地域スポーツ指導者の充実

- ・スポーツ推進委員の活動内容の周知及び募集
- ・地域スポーツ指導者の活用方策の検討
- ・大学や競技団体との連携による指導者に対する研修の充実
- ・スポーツ推進委員が地域で行う運動やスポーツの活動を支援

#### (3) 地域スポーツ施設の利用促進

- ・長崎市公共施設案内・予約システムの周知
- ・予約方法の工夫などによる学校やスポーツ施設の稼働率の向上
- ・公園などにおける健康器具の利用促進

#### (4) 地域スポーツと企業・大学などとの連携

- ・広報や場所の提供などにより地元企業や大学などの取組を支援
- ・スポーツツーリズムによる地域の活性化

### 4 競技力の向上に向けた人材の養成、スポーツ環境の整備

#### 【目標】

国際大会や全国大会などにおける入賞者数を増やす。

#### (1) ジュニア期からトップレベルに至る戦略的支援の強化

- ・積極的に表彰を行うことによるアスリート及び指導者の意欲の向上
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたジュニア層の強化

#### (2) スポーツ指導者及び審判員などの養成・研修やキャリア循環の形成

- ・スポーツ指導者及び審判員などの養成・研修を実施するための支援

## 5 国際大会、全国大会などの招致・開催などを通じたスポーツ振興、地域活性化、他都市との交流の推進

### 【目標】

国際大会、全国大会やプロスポーツなどの招致・開催により、市民のスポーツへの関心を高め、スポーツの振興と地域の活性化に繋げる。

#### (1) 国際大会、全国大会などの招致・開催など

- ・市民が観戦したいと思うトップレベルのスポーツ大会の招致
- ・長崎国体の成果や反省を生かした改善
- ・2019年ラグビーワールドカップの合宿等の招致
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピックの合宿等の招致

#### (2) スポーツに係る他都市との交流の推進

- ・長崎ベイサイドマラソン&ウオークなどの行事による他都市との交流推進

## 6 スポーツ界の好循環の創出

### 【目標】

トップレベルのスポーツの伸長とスポーツの裾野の拡大を促す。

#### (1) トップレベルのスポーツと地域におけるスポーツとの連携・協働の推進

- ・トップアスリートの育成・活用による人材の好循環サイクルの確立
- ・定期的な指導を行うための活動の場の提供
- ・トップアスリートの採用の推進

